

## 11月1日は古典の日

古典というのは、昔に書かれたお話で、今でも読まれているものを言います。なんだか難しそうですが、みなさんもよく知っている「ももたろう」や「かぐやひめ」も古典だし、Eテレの「にほんごであそぼ」に登場する「ややこしや」や「じゅげむ」なども古典です。「百人一首」も800年以上前に詠まれた「和歌」をカルタにしています。京都では、たくさんの古典が書かれて残っています。

11月1日は「古典の日」です。紫式部という人が「源氏物語」というお話を1000年前に書いたことを記念して決められました。読んでみると、今の私たちと同じようなことを感じたり考えたりしていることがわかります。この機会にみなさんも古典を読んでみませんか？



「まんがでよむ  
源氏物語」  
光源氏という人の  
ラブストーリーです。



「清少納言と枕草子」  
1000年前の生活の  
ようすがよくわかります。



「じゅげむ」  
長い長い名前の  
男の子は、長くて  
こまりました。



「三国志」  
中国の古典です。  
3つの国に分かれて  
あらそうのを  
まとめようします。



今年の秋は、コロナが5類になったので、あまり制約もなく行事ができました。先生も週末には、紅葉を見に山に登っています。

でも、世界ではウクライナや中東で戦争が続いています。大勢の人が亡くなっています。国どうしの争いは難しい事情があるので、簡単には解決できないかもしれません。

私たちも友だちとの間や家族の中で時々けんかが起こります。お互いの話をしっかり聞けば早めに解決できるのではないかでしょうか。

今月おすすめの本は「マザー・テレサ」、「ともだちや」です。

幸せになるために大切なことに  
気づいてほしいと思います。



## 司書だよい

「マザー・テレサ」  
沖 守弘 文・写真

「ともだちや」  
内田 鱗太郎

読書月間では、たくさん本が読めましたね。図書委員さんにたくさん感想を話して  
くれてありがとうございました。これからも いろんな本を よんでくださいね。

